

札幌市教育センター「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実のための手立ての工夫


小学校第6学年 社会 (2)(キ) 単元名「幕府の政治と人々の暮らし」(7時間)

目 標	<p>(1)国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)日本の歴史の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、各時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)日本の歴史上の主な事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。</p>
--------	---

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、絵画資料や文化財、地図帳や地球儀、年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、参勤交代や身分制度、鎖国などの幕府の政策について理解している。</p> <p>②調べたことを年表や図表などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。</p>	<p>①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、参勤交代や身分制度、鎖国などの幕府の政策について考え、表現している。</p> <p>②参勤交代や鎖国、身分制度などの幕府の政策を関連づけたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。</p>	<p>①江戸幕府の政治について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

指導と評価の計画

時間	AAR サイクル	学習内容・活動等	評価方法・留意点
1	<p>イントロダクション</p> <p>個別探究</p>	<p>○年表から江戸幕府が 265 年間続いたことに注目し、問いを出し合う中で単元の学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして 265 年も続いたのだろう。 ・ 政治が安定していたのではないかな。 ・ 頼朝の時みたいに徳川家康の思いを受け継ぐ人が出てきたのではないかな。 ・ 国を治める人の権力が強かったのではないかな。 ・ 決まりや法律を整備したのではないかな。 ・ 江戸幕府は何か政策をしていたのではないかな。 ・ 人々はどのような暮らしをしていたのだろう。 ・ 外国との関わりで発展していったのではないかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【単元の学習問題】 江戸幕府は、どうして 265 年間も続いたのだろう。</p> </div> <p>○江戸時代の様子がわかる資料から学習問題についての問いや予想・仮説を立てる。(問いストーリー)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>参勤交代の様子</div> <div>武家諸法度</div> <div>人々の暮らしの様子</div> <div>鎖国の様子</div> </div>  <p>何をしているのかな</p> <p>大名の様子</p> <p>どうして武家諸法度を作ったのかな</p> <p>外国とどのように関わっていたのかな</p> <p>人々はどんな暮らしをしていたのかな</p> <p>幕府の力が強かったみたいだ</p> <p>税を納める仕組みがありそう</p>	<p>・これまで学んできた各時代の長さがわかる年表を提示することで、これまでの時代との比較によって江戸時代の長さに着目できるようにする。また、江戸時代が 260 年間も続いた事実を伝えることで、幕府が長く続いたことには何か理由がありそうだという見通しをもち、予想や仮説を立てることができるように関わる。</p> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0; color: white;"> <p>○ B 子どもの「興味・関心」や「問い」を大事にした授業</p> <p>・単元の学習問題に対して、個々で予想や仮説を立てた後に、全体で予想や仮説を交流し整理していく。教師が児童の予想や仮説をもとに、追究の視点や明らかにしたいことを整理していくことで、児童が解決したい問いをもち、学習計画を立てられるように関わる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>思①【行動観察/記述分析】 世の中の様子や人々の様子に着目し、問いを見いだし、既習や資料を基に予想や仮説を立てているか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主①【行動観察/記述分析】 学習問題と自分の問いの解決に向けて、適切な学習計画を立て、自分で学習を調整しながら主体的に追究しているか。</p> </div>

協働探究

○個々の問いや予想・仮説を交流し、全体での見通しをもち、個々に学習計画を立てる。

学習問題
学習計画

個々の追究 ⇄ 交流・協働
幕府の政策評価カードを作成

学習問題について
「評価カード」を
もとに議論

○ A 子どもが自分たちで学び取る授業

・ICTで共有化を図ることで、他者の学習計画や追究内容が常に見合える状況をつくり、自己調整を図ったり、同じ問いをもつ児童どうして協働して学習を進めたりしやすい環境を整える。

個別探究

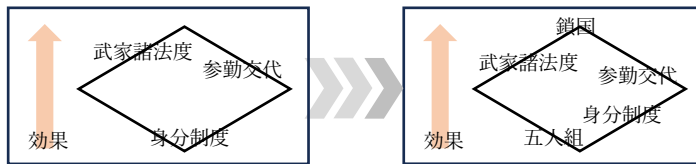
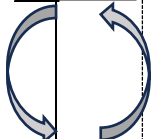
2
3
4
5

○江戸幕府が 265 年続いた要因について、自分の予想・仮説、学習計画をもとに調べる。

○自分の追究の内容をオクリンクプラスのみんなのボードで共有しながら調べる。

○幕府の政策を「評価カード」にまとめ、幕府が 260 年間続いたために効果があったと思う順に整理していく。(オクリンクプラスの自分のノートでまとめていく。)

個別探究



○ C 子どもが安心して、進んで取り組める授業

・「評価カード」は他者に共有せずに毎時間作成していく。あえて共有しないことで、その子らしい追究や考えを大切にできるようにするとともに、他者の考えを知りたい、自分の考えの根拠を強めたいという思いを引き出し、他者との協働的な学びへの必要感を高めることができるようにする。

協働探究

【追究する際の見方・考え方】

- ・時期や時間～推移や変化、継承 (江戸幕府の存続、貿易の変遷、鎖国までの流れ)
- ・位置や空間的な広がり (大名の配置、長崎に出島、外国との貿易)
- ・相互関係～原因と結果、事象とその背景、事象と人々の関係 (時代背景、幕府と大名、武家諸法度や参勤交代、身分制度、鎖国)
- ・比較～今と昔、為政者 (幕府) と国民、時代と時代、相違・共通性 (権力、きまりの整備、身分、外交)
- ・人物がしたこと (徳川家康、徳川家光)
- ・多角的～幕府 (家康、家光)、大名、国民、自分から見て

【追究の焦点化】

- ・江戸幕府が「265 年続いた要因」は何か。
- ・政策には「誰に対して」「どんな効果」があったのか。

・児童の様子に合わせて、同質や異質の意見と触れ合う機会を意図的につくり協働的な学びの促進を図る。

知①【行動観察/記述分析】

幕府の政策から、大名支配の考え方や仕組み、また、大名以外の人々の支配の仕組みを捉えているか。

知①【行動観察/記述分析】

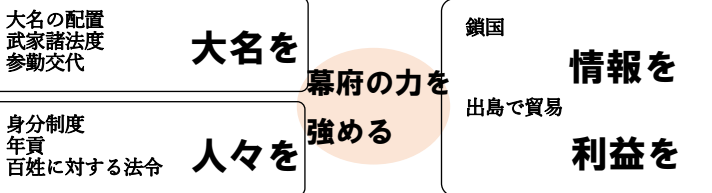
当時の世の中の様子から、鎖国に至った経緯を捉えたとともに、幕府が鎖国政策をどのように進めていったのかを捉えているか。

リフレクション

○振り返りをオクリンクプラスの提出ボックスに提出する。

協働探究

○個々の追究のなかで作成してきたカードをもとに、江戸幕府が 265 年間も続いた要因について話し合う。



江戸幕府は、制度などで大名や人々を支配し、鎖国政策によって利益や情報を独占することでさらに支配を強めることで安定した政治を行った。

- ・毎時間の様子や振り返り、「評価カード」から各児童の追究の様子を見取り、追究する際の見方・考え方が働くように関わる。
- ・個々の追究の重なりを生むために、焦点化する問いかけを行う。
- ・毎時間、自分の学んだことや考えたことについての振り返りを記入する。ICTを活用し、毎時間の振り返りや変容の様子を記録として残すことで、児童が自分自身の学びの様子や変容を捉えられるようにする。

思②【発表/記述分析】

幕府の政策によって大名や大名以外の人々の支配を強まり、鎖国政策によって利益や情報を幕府が独占することで、更に幕府の支配が強まったことを捉え、表現しているか。

リフレクション

○単元を通しての学びと自分の学び方について振り返る。

思②【行動観察/記述分析】

幕府の政策が人々の支配にどのような影響を与えたかを考え、どの政策が最も効果があったか、学んだことを基に表現しているか。

7

社会科学習指導案

○本時の目標

江戸幕府が 265 年間続いた理由について考える活動を通して、幕府の政策と大名や人々の生活とを関連付けながら、江戸幕府の行った政策の意図や効果について考える。(思考力・判断力・表現力)

○本時の展開(6/7)

時間	AAR サイクル	学習内容・活動等	評価方法・留意点
	導入 アクション	<p>○江戸幕府の政策の効果についてまとめたカードを見合う。</p> <p>〇〇さんは、鎖国が重要だったと考えているね。 〇〇さんは、武家諸法度が一番効果が高いと思ったんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の政策の効果について交流する必要を感じられるように、考えや捉え方の違うカードを取り上げ全体に共有する。
	協働探究	<p>【学習課題】江戸幕府は、どうして 265 年間も続いたのだろう。</p> <p>○個々の追究をもとに、幕府の政策について話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>大名の配置 幕府にとって都合のよい位置に→反乱しにくい</p> <p>武家諸法度 大名を取り締まる 江戸城の修理・土木工事など→大名に大きな負担</p> <p>参勤交代 将軍と大名の主従関係を確認 幕府のために働く</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>鎖国 キリスト教禁止 →反乱を恐れて 絵ふみ →徹底的に見つける 海外行き来禁止 →海外の情報を知れないように</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">一揆を防ぐ</p> <p style="text-align: center;">幕府の力を強める</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>身分制度 武士に特権 百姓・町民は武士を支える(上下関係)</p> <p>年貢 五人組(連帯責任) 幕府の財政を安定させる</p> <p>百姓に対する法令 住む場所や服装などを制限</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>情報を利益を 独占</p> <p>出島で貿易 中国とオランダのみ 幕府のみが貿易</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">支配 ← 安定した政治 → 独占</p>	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府が行った政策と人々の生活とを関連付けて考えられるように、政策の意図や効果について問い返す。 <p>○ B 子どもの「興味・関心」や「問い」を大事にした授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な視点から自分の考えを見直すことができるよう、江戸幕府の政策において最も重要だと思ったことや政策は何かを改めて問い直す。
	個別探究	<p>【課題解決の姿】</p> <p>江戸幕府は、制度などで大名や人々を支配し、鎖国政策によって利益や情報を独占することでさらに支配を強め、安定した政治を行うことができた。</p>	<p>○ A 子どもが自分たちで学び取る授業</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いを受けての自分の変容や学びの深まりを捉えられるよう、再度カードを編集する時間を確保する。
	リフレクション	<p>○話し合いを通して考えが変わったところや深まったところを振り返り、再度自分のカードを編集する。</p> <p>○振り返りを書き、オクリンクプラスで共有する。</p>	

○本時の評価

江戸幕府が 265 年間続いた理由について、幕府の政策と大名や人々の生活とを関連付けながら、江戸幕府の行った政策の意図や効果について考えることができる。(発言・振り返り)

